

令和  
元年

# 京都迎賓館シンポジウム

名古屋開催



【廊橋】(庭園内)東西の建物をつなぐ橋



【正面玄関】

Kyoto State Guest House  
Photo Osamu Murai



【藤の間】(晩餐室)  
綴れ織りによる幅16.6m、高さ3.1mにもなる壁面装飾

## 京都迎賓館の美とおもてなし

現代和風を基調として、平成17年4月に開館した国の迎賓施設

その庭屋に活かされた京都ならではの伝統技能やおもてなしの文化は、海外賓客等から高く評価されてきました。

平成28年7月からは、待遇等に支障のない限り**通年で一般公開**が始まり、全国の皆様に京の匠の技とおもてなしが一層身近に

感じていただける機会が増えております。この京都迎賓館について、改めてその価値を皆様を知っていただくため、

その建設や国公賓のおもてなしに携わった方々を交え、シンポジウムを開催いたします。ぜひこの機会にお申し込み下さい。

令和元年 **9月26日** (木)

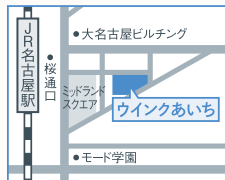
13:30~16:00 (受付開始13:00)

**ウインクあいち 2階大ホール**

(愛知県産業労働センター)  
名古屋市中村区名駅4丁目4-38

### 交通アクセス

JR名古屋駅桜通口から  
ミッドランドスクエア方面  
徒歩5分



定員 **800名** (事前申込抽選制)

参加無料

申込締切

令和元年 **8月31日** (土) 必着

※申込方法は裏面をご覧ください。

### PROGRAM

#### 1 芸妓さん舞妓さんによる舞踊披露

京都・上七軒歌舞会

#### 2 基調講演

「京都迎賓館～和のおもてなしとは～」

講師：安藤 昌弘氏 (元 内閣府迎賓館館長)

#### 3 パネルセッション

「京都にいきる技とこころ 世界へ」

京都迎賓館の運営やおもてなしについて各界の方々をお招きし、世界にひらかれた文化首都・京都ならではのしつらえ、おもてなしの真髄を語っていただきます。



写真はイメージです

### パネリスト

安藤 昌弘氏【元 内閣府迎賓館館長】

桑原 仙溪氏【京都いけばな協会会長、桑原専慶流家元】

高橋 英一氏【京料理「瓢亭」14代目当主】

明石 文雄氏【川島織物セルコン 生産部 技術顧問】

当日ご参加の  
皆様に  
もれなく進呈

京都北山  
マールブランシュの  
お濃茶ラングドシャ  
「茶の菓」5枚入を  
プレゼント!



主催 公益財団法人 京都文化交流コンベンションビューロー

協賛 株式会社ロマンライフ (京都北山 マールブランシュ)

後援 内閣府迎賓館 (京都事務所) ・京都府 ・京都市 ・京都商工会議所 ・東海旅客鉄道株式会社 ・京都新聞 ・中日新聞社

京都迎賓館一般公開について

公開日程や申込方法は、「内閣府 京都迎賓館ホームページ」をご覧ください。下記へお問い合わせ下さい。  
<https://www.geihinkan.go.jp/kyoto/> TEL: 075-223-2301

# 出演者プロフィール

## パネリスト

MASASHIRO ANDO

安藤 昌弘氏【元 内閣府迎賓館館長】



昭和19年生まれ。昭和42年東京大学法学部卒、同年総理府に入る。45年から47年英国オックスフォード大学留学。その後、迎賓館次長、賞勲局長、総理府次長を歴任。平成13年から16年特命全権大使ルクセンブルク国駐節、16年から20年内閣府迎賓館館長、20年から30年一般社団法人新情報センター会長。現在茜出版代表取締役。

## パネリスト

EIICHI TAKAHASHI

高橋 英一氏【京料理「瓢亭」14代目当主】



昭和14年京都生まれ。同志社大学卒業後、東京・大阪で修業。昭和42年に瓢亭14代当主に。平成4年京都府優秀技能者表彰「現代の名工」、平成19年厚生労働大臣卓越技能者表彰「国の現代の名工」、平成22年黄綬褒章受章。平成25年京都府指定「京料理・会席料理」無形文化財保持者認定。平成30年旭日小綬章受賞。著書は、「瓢亭一四季の料理と器」など多数。

## パネリスト

SENKEI KUWAHARA

桑原 仙溪氏【京都いけばな協会会長、桑原専慶流十五世家元】



昭和36年生まれ。昭和59年、十四世家元の長女櫻子と結婚、家元を補佐しながら教授活動を開始。古典の継承といけばなの普及に力をいれる。平成16年に家元襲名。現在、京都の華道32流派で構成する「京都いけばな協会」会長。(公財)日本いけばな芸術協会理事。

## パネリスト

FUMIO AKASHI

明石 文雄氏【川島織物セルコン 生産部 技術顧問】



昭和22年京都府生まれ。昭和47年立命館大学文学部卒業、川島織物入社。伝統的織物である帯地、祭礼懸装品、緞帳の製作に携わる。現在はユネスコの無形文化遺産に登録されている、全国の山・鉾・屋台行事にかかわる染織品の復元・新調を数多く手掛ける。「祭屋台等製作修理技術記録―染織品の部」編集。

## 京都迎賓館シンポジウム【参加申込方法】

Web、FAXまたは郵便はがき、いずれかの方法にてお申し込み下さい(2名様まで申込可能です)。なお、お電話でのお申し込みはご遠慮願います。

申込締切

令和元年 **8月31日(土)必着** (応募多数抽選)

※9月10日(火)頃までに、代表者あてに郵送にて「参加証」をお送りします。

(落選された方にもその旨、郵送にてお知らせします)

### 1 Webによる申込方法

当財団公式サイト「京都迎賓館・シンポジウム情報」ページより「応募フォーム」に進みお申込みください。

<http://hellokcb.or.jp/bunka/symposium.html>

※ドメイン受信設定で当財団からのメール(hellokcb.or.jp)が拒否されないようフィルタの設定をご確認下さい。

スマートフォン・タブレット端末で右の二次元コードを読み取ってもお申込みできます。



### 2 FAX申込用紙

FAX

**075-353-3055**

※番号をお間違えないようにお願いします。

(公財)京都文化交流コンベンションビューロー 行

【お願い】大きな字ではっきりお書き下さい。切り取らずこのまま送信して下さい。

参加者 (代表者)	ふりがな		
	氏名		
	住所(〒 )	※ビル、マンション名までご記入下さい。	
	電話番号( )	—	FAX番号( )
参加者 (2人目)	ふりがな	【お願い】このチラシの入手場所をお聞かせ下さい。 ▶施設名やイベント名(○図書館、○講演会など) ( )	

### 3 郵便はがきによる申込方法

代表者の方の郵便番号・住所・氏名・ふりがな・電話番号・FAX番号(2名の場合は、もう1名の方の「氏名」・「ふりがな」)をご記入の上、下記の申込先までお送り下さい。(このチラシの入手場所についてもお聞かせ下さい)

お申込・  
お問合せ

〒600-8009 京都市下京区四条通室町東入函谷鉾町 78 番地 京都経済センター 3 階  
公益財団法人 京都文化交流コンベンションビューロー 京都迎賓館シンポジウム係  
TEL : 075-353-3051 FAX : 075-353-3055

京都ビューロー

検索

※この個人情報は、本シンポジウム事業の運営以外には使用いたしません。  
※都合により、プログラム、内容を変更させていただく場合がございます。  
※当日、開演後の写真、動画撮影はできませんので、ご了承下さい。